

東神電池工業株式会社

沿革

- 昭和20年 初代・永井弘が東京と神戸で修行後、東京都中央区小田原町で創業
- 昭和25年 初代・永井弘が、水戸市城東で東神電池工業株式会社を設立
- 昭和28年 東京支店(現・東京事業所)開設
- 昭和29年 東京電力株式会社登録業者となる
三菱電機株式会社特約店となる
- 昭和31年 澤藤電機株式会社特約店となる
- 昭和32年 日本原子力研究所(現・日本原子力研究開発機構)登録業者となる
- 昭和42年 動力炉・核燃料開発事業団(現・日本原子力研究開発機構)登録業者となる
- 昭和46年 日本電池株式会社(現・株式会社GSユアサグループ)代理店となる
- 昭和51年 茨城県一般建設業(電気工事業)の許可を受ける
- 昭和57年 茨城県電気工事業指名業者となる
- 昭和61年 二代目・永井靖彦が代表取締役に就任
- 平成16年 特定建設業(電気工事業)の許可を受ける
株式会社GSユアサ代理店となる
- 平成18年 株式会社ジーエス・ユアサフィールドディングス工事代行店となる
- 平成24年 三代目・永井忠弘が代表取締役に就任
- 平成29年 宇都宮営業所開設



東神電池工業株式会社

未来へのメッセージ

私の願いは、「100年企業」を目指し、当社が今後も成長し続けることです。その実現のためには、当社に関わって頂いている全ての方々に対して「感謝と奉仕の心」を持ち、そして、柔軟性と機敏性、決断力に優れた持続可能な経営力が必要になります。

私は昭和15年に生まれ、激動の日本経済の中、当社の2代目として茨城本社や東京支店の仲間とともに、40数年間、必死の覚悟で経営を行って参りました。そして、3代目に事業を託し、2020年、創立70周年を迎えることができました。

真の意味での事業承継とは、信念や覚悟という精神的な部分の継承が最も重要です。実は、息子に私の信念を直接伝えた経験はありませんでした。しかし、70周年記念誌作成をきっかけに心の深い部分での繋がりを見出すことができたと確信しています。

私は会社を愛しています。それは我が子や兄弟、妻を愛する気持ちと同じです。「100年企業」への想いは、私の遺言、そして未来に向けたメッセージです。

代表取締役会長

永井靖彦



私が追求し続けたいもの、それは社員の「幸せ」です。例え、目の前に1,000人の敵が立ちただかろうとも、たった1人、応援してくれる人がいれば、私はその人の幸せのために、先頭に立って戦い続ける覚悟があります。

社員の幸せと事業の繁栄は、表裏一体です。当社は、流動的な社会を生き抜く戦略として、2020年10月に設備工事会社を買収し、既存事業と合わせた「総合電気工事業者」への道を着実に歩み始めています。

進み続ける原動力は「他喜剛心」、
「いかなる困難にも屈せず、思いやりと優しさ、そして強い心で人の喜びのために尽くす」という揺るぎない信念です。

実はこの言葉は、父への反骨精神を抱いていた33歳の時、手帳に書き留めたものです。当時、父は自分の気持ちを言葉にしませんでした。しかし、当社を70周年へと導いてくれた今、その心を深く理解することができます。今後も「歴史の年輪」を刻み続けるため、「他喜剛心」を貫いて参ります。

代表取締役社長

永井忠弘